事務事業評価表 (建設事業等)

評価対象年度平成28年度1次評価日(主幹等)29年3月30日2次評価日(課長等)29年3月31日

1	事業名	湖周	湖周地区ごみ処理施設整備事業 31201						81201		
2	担当部課	部等 市民環境部 課等 環境課 作成者 黒渕 浩人							浩人		
	事業概要	μŋ	基本目標	自然環境と暮ら	しが調	和した、安全	・安心なます	5			
3		体系	女 策	循環型社会の構	築		施 策	廃棄物対	策の推進		
3		于未帆女	予算	算科目	湖周地区ごみ処	理施設	費	業務委託	なし(直	営)	
			宝井	布義務	なし、(選択的事	業)		国県補助	あり		

●事業の実施内容 (D0)

	•	* 1 1 V 1 0 1 1 1	Y= = r					
4	4	事業の概要等	* 対象者(誰のため)、意図(どのような状態にしたいのか)					
	事業の概要		湖周地区(岡谷市、諏訪市、下諏訪町)から排出される一般廃棄物を、広域的に共同で処 理を行う。					
		目 対象者	湖周地区(岡谷市、諏訪市、下諏訪町)の住民。					
		的 意 図	環境負荷の低減と循環型社会の構築を目指す。					

5 事業の必要性

*事業を計画した当時、この事業が必要になった状況・理由

老朽化した現施設の更新の必要性とともに、大量廃棄型の社会から3Rを推進し、循環型社会の構築に向けて、ごみを適正に処理することが必要になり、住民、事業者、行政が連携して広域的に取り組むことが求められた。

6	事業の全体	計画	* 各年度の取組計画					
	予定全体事業費		1, 647, 144, 000	円	事業期間	H23年度~H31年度		
	26年度まで	中間処続。	中間処理施設建設工事(主に基礎・地下工事)を着工。岡谷市発生ごみの共同処理事業を継 売。					
27年度 中間処理施設建設工事(主に地上工事)を着工。岡谷市発生ごみの共同処					ごみの共同処理事業を継続。			
	28年度		□理施設建設工事及び機器据付け こ。岡谷市発生ごみの共同処理事					
29年度以降								

7	事業の実施	内容 * 各年度の進捗状況
		岡谷市清掃工場解体工事を完了し、中間処理施設(平成28年9月稼動を決定)建設工事に着工。敷地造成工事を完了。岡谷市発生ごみの共同処理事業(平成25年11月以降諏訪市、下諏訪町清掃センターへ焼却を委託)の実施及び仮設ごみ預かり所の運営。
	27年度	中間処理施設建設工事、機器据付を実施。共同処理事業を継続して実施するなかで、繁忙期 への対応として諏訪南清掃センターへの搬入を開始。仮設ごみ預かり所を継続して運営。
	28年度	中間処理施設建設工事、機器据付を完了。7月からの試運転を経て、12月から本格稼動となった。8月末までは共同処理事業を実施し、11月末まで仮設ごみ預かり所を運営した。12月以降は市民が草・剪定枝等を無料で持ち込むことができる資源物等預かり所を新たに設置した。
	前年度の課題への対応	・平成29年4月からの2市1町の統一に向けた取り組みのひとつとして、条例改正を行った。 ①ごみの名称変更「燃えるごみ」⇒「燃やすごみ」、「燃えないごみ」⇒「埋立ごみ」 ②祝日収集の実施 ③手数料徴収方法の変更(持込手数料を組合で徴収) ・新施設稼動に伴うごみの持込みについてチラシ等を作成し、市民へ周知した。

8 =	1ストの推移	*この事業にかかる費用	[単位:円]		
	区 分	26年度まで(累計)	27年度	28年度	29年度 (予算)
1	直接事業費	447, 116, 161	301, 092, 985	89, 972, 733	200, 113, 000
	経常経費		0	0	0
	臨時的経費	447, 116, 161	301, 092, 985	89, 972, 733	200, 113, 000
* 臨時的経費の説明 * 負担金(運営費、事務費、建設費、				、公債費、共同事業費	?)
2) 人件費		4, 800, 000	4, 800, 000	3, 200, 000
	正規職員の人数(人)		0. 60	0. 60	0. 40
3) 合計コスト (1)+2)	447, 116, 161	305, 892, 985	94, 772, 733	203, 313, 000
	前年度比			31.0%	214. 5%
	財源 一般財源	204, 086, 779	210, 974, 436	27, 028, 453	159, 995, 000
	内訳 特定財源	243, 029, 382	94, 918, 549	67, 744, 280	43, 318, 000
	* 特定財源の説明	* 廃棄物処理手数料			

●事業の評価 (CHECK)

9 事業の進捗状況

	区 分	26年度まで(累計)	27年度	28年度	29年度 (予算)
進	直接事業費の執行率	27. 1%	45. 4%	50. 9%	
捗	その他の進捗率				
率	* その他の進捗率の説明				

これまでに生じた政治・経済・文化などの状況変化のうち、この事業に影響があったこと)

中間処理施設建設に伴う公共工事設計労務単価の上昇による請負金額の増額

(インフレスライド条項の適用) • H26.8請求額:2,769,120円 ま

• H28. 4請求額: 4, 796, 200円

(29年度以降に予測される政治・経済・文化などの状況変化のうち、この事業の進行・完了に影響すると思われること)

最終処分場の建設にあたっても、同様のケースが考えられる。

●改善の内容 (ACTION)

10 今後の課題と対応策

環境変化を考慮して事業を進めていく上で、29年度以降に課題になること) 最終処分場の建設にあたり、下流域にあたる辰野町住民の理解を得ること。

課 題

後 の

をとり

ま

く環

境灾 今

化 後

(上記の課題をふまえて29年度に実施する、具体的な対応方法)

辰野町に十分な話し合いの機会を設けてもらい、安全性など理解を深めていただく。

の

題

対 応 策

●次年度の計画 (PLAN)

12 施策評価による28年度の優先度 11 次年度の方針 継続して実施 Α *H27年度施策評価表より転記すること